

松庵防災ニュース

第 13 号　2026 年 10 月発行
松庵町会防災会

～災害時には「在宅避難」～

地震発生時は、従来の身の安全確保と火の始末後の**「避難所への避難」**から、自宅の安全が確保され居住の継続が可能な場合は**「在宅での避難」**へという形に変化しつつあります。
少しでも快適な在宅避難ができるように日ごろからの備え（自助）は大切です。

＜防災イベント 実施報告＞

日時・場所 ： 10 月 4 日（日）10 時～12時　西松会館にて
参加人数　： 20 名





前半は防災食の紹介と試食を行いました

おなじみのα米もいろいろな種類があります
ドライカレーやチキンピラフなどいつもと違った味を試食してみました
袋を開封するだけで食べる事ができるパンやパスタなどもあります





後半は2グループに分かれ、皆さんの防災対策や工夫についてグループディスカッションを実施

情報を共有する事で自分の備えを振り返ったり、他の人の工夫を取り入れる事を目的にしています

- 最近の豪雨災害などをきっかけに薬は2週間くらいのストックを持つように心かけている
- 一人暮らしなので10年位前から準備を続けている
- スマホの充電が切れない様に心がけている
- 持ち出しリュックは準備しているが他の物も置き場をまとめたい
- 障がい者施設なので入居者の安全、安心を守れるか、火事など心配
- 食料などの備蓄はできている
- 消火器の使い方を知っておく事、避難した後に戻らない事は大切
- 銀行の通帳、家の権利書など貴重品は持ち出すべきか→避難所での盗難も心配
- 家族の連絡先を書いたメモを持ち出しリュックに入れている（スマホが切れると連絡先検索は使用できない）



その他情報提供

富士山噴火が起きた場合に想定される事態について（防災ニュース11 号参照）



エアーマットの体験、持ち出しリュック・100円ショップで買える防災グッズ等の展示も行いました

皆さん熱心に話し合い情報の共有ができました。参加頂いた皆様ありがとうございました。

発行責任者　松庵町会防災会会長　出田　清